

事例紹介

地域伝統工芸担い手人材育成事業【山形県】

地域人材育成事業 【ものづくり産業分野】

置賜地域に根ざした「織物産業」は、品質の高さについては折り紙つきですが、最近ではデザイン性の高いオリジナリティーでも注目されています。その業界に身を置いた研修者の方々には、地域伝統産業の担い手として新たな活路を切り開く存在になってほしいと大いに期待しています。



米沢織物工業組合
理事長 嵐田道雄 様

事業概要

地場産業生産組合が新規に雇用した者に対してカリキュラムに基づいた講習会や組合員である事業所等において現場実習などを実施することにより、地域伝統工芸(織物)に関する知識や優れた技能、技術等の伝承を行い、次代につなげる担い手を育成し、伝統的地場産業の復興をめざす。

委託先

- ・米沢織物工業組合
- ・長井紬織物工業協同組合
- ・置賜紬伝統織物協同組合

新たな 雇用創出数

10人

事業費

約3,408万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

今後の課題

生産体制や流通、販売形態など、織物産業界を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、これまで培われてきた伝統や技術を活かすつも、新たな息を吹き込みながら、どのようにして業界全体の底上げに役立てていくのかが課題となっている。

山形県 置賜地域



有効求人倍率(平成22年3月)

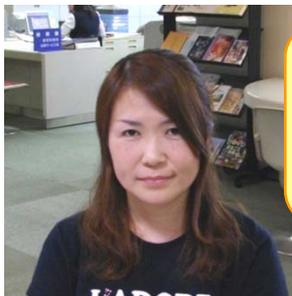
山形県 0.45倍(季節調整値)
置賜地域 0.39倍(原数値)

雇用されているみなさんの声



伝統を継承していく事も、時代に合わせて変えていくことも大切。ファンを大事にし、愛されるものを作りたい。

鈴木亜希さん



伝統産業を勉強させていただき紬の奥深さを知って感動しています。若い人たちにも関心を持っていただけるよう、広めていきたい。

佐竹幸子さん



家族代々引き継がれるすばらしい紬を織ることができるよう、技術と知識を得ていきたいと思っています。

川上佐知子さん

研修先からの声



(有)わくわく館
社長 齋藤英助 様

残すべきものと新しく作り出すものを若い人の感性を取り入れ、明るいイメージをもってやっていくことが大事。前向きで意欲的に取り組んでもらっており期待しています。伝統は作り出すこと。勇気を持ってチャレンジしてほしい。



渡源織物
代表 渡邊徹 様

近年は事業縮小、生産量激減などで伝統地場産業でありながら行政の熱心な指導にも応えられず苦闘しておりましたところ、この事業には多数の真剣な応募があり、大変心強く感じました。研修者も毎日頑張っております。やがて新しい感覚での商品開発につながることを期待しております。



小松織物工房
代表 小松紀夫 様

山形県無形文化財として、白鷹に残る緋の文化を引き継いで、はた織りの技術を後世に伝えてもらうことを期待しています。

研修風景

“染め”に取り組んでいます



“織り”を教わっています



織物の“歴史や文化”について学習しています

